

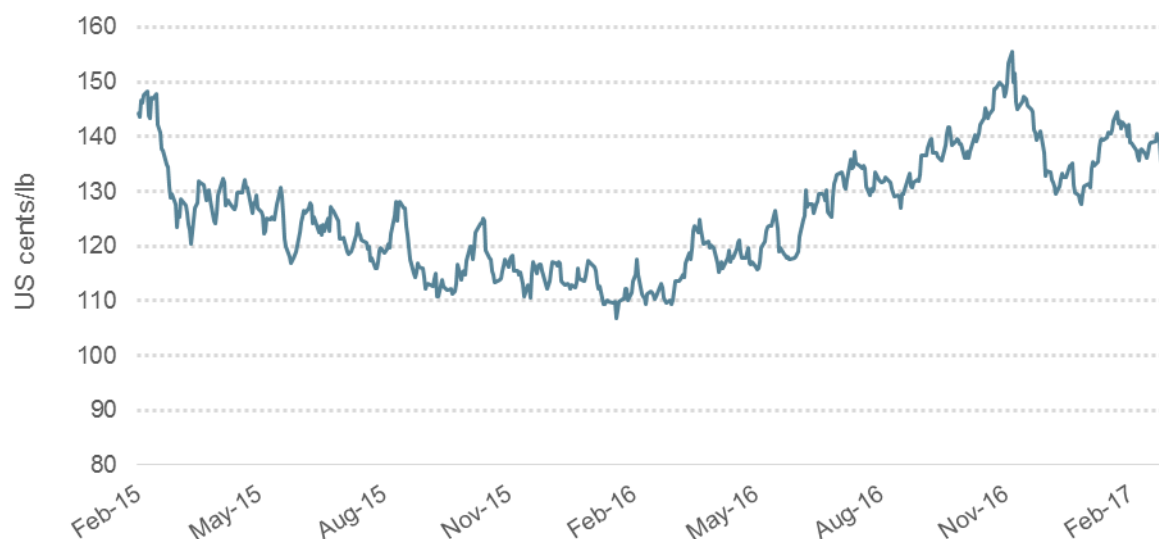
今月はICOの2月コーヒーマーケットレポートに加え、カナダコーヒー協会ホームページからトピックス（1）カナダコーヒー事情、全米コーヒー協会ホームページからトピックス（2）2017年米国コーヒー市場見通し邦訳をお届けします。



コーヒー価格は供給懸念が和らぎ少し下がった

コーヒー価格については、全コーヒーグループ指標価格が少し下がったが、特にロブスタコーヒーの下げが大きかった。ブラジル国内のロブスタ供給不足を解消する為の輸入クォータが中止されたことでロブスタコーヒーを輸入すべきかどうかの議論が続いている。一方、世界のコーヒー在庫水準の増加及び2017/18年度コーヒー生産量の見通し（特にブラジル）の明るさが供給懸念をある程度払しょくした。2015/16年度世界コーヒー輸出金額についてICOの第1回推定値は前年度対比6%の増加であった。

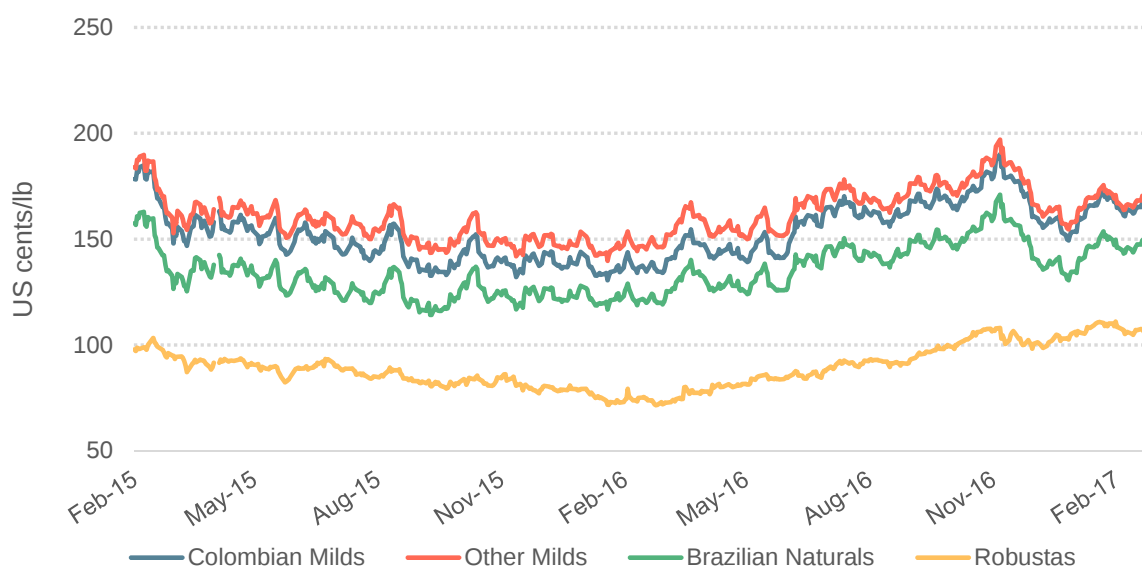
Graph 1: ICO composite indicator daily prices



© 2017 International Coffee Organization (www.ico.org)

2月のコーヒー価格は下がり、ICO複合指標価格の月間平均は、1月の平均値139.07米セント/LBに比べ1.0%減の137.68米セントとなった。ICO日次複合指標価格は2月1日が142.09米セント/LB、2月27日が133.02米セント/LBと僅か10セント/LBの範囲内での動きに終始した。1月中、コーヒー価格は上昇傾向を示したが、世界在庫の増加とブラジルの来季の豊作見通しが発表され下落に転じた。

グラフ 2: ICO 日次グループ指標価格



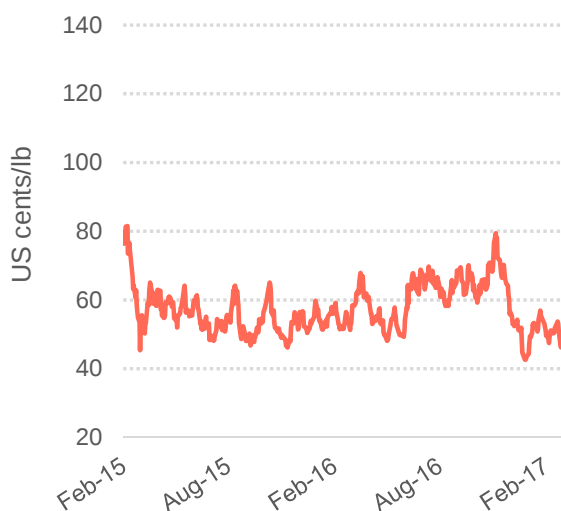
© 2017 International Coffee Organization (www.ico.org)

全てのコーヒーグループの中で、ロブスタグループの月間平均指標価格の下げが最も大きく、前月の108.32米セント/LBから106.49米セントに1.7%の下落であった。しかし、日次指標価格は月中ずっと下がり最安値103.54米セントを付けたが、月末は105.33米セントで終わった。従い、ロブスタコーヒーの上昇基調は先月この5年半での最高値を付けて終わり、2月に初めて下落に転じたということになる。アラビカグループの指標価格も下がり、コロンビアマイルド、アザーマイルドは夫々0.8%、1.3%下落したが、ブラジルナチュラルは1月に比べ僅か0.1%の下げでほぼ横ばいだった。ロンドンとニューヨーク先物市場のアービトラージは、52米セントから50.18米セントに3.5%縮小した。

2月のコーヒー価格動向にはブラジルのコニロンの不作に伴う同国内の供給不足を補う為にロブスタコーヒー輸入を認めるかどうかという議論が背景にあった。即ちブラジルではロブスタコーヒーが不足し国内価格が高騰した為、結果として同国インスタントコーヒーメーカーはロブスタの代替として低級アラビカコーヒーを使わざるを得なくなった。ICメーカーは量を決めてロブスタコーヒーを輸入することを主張したが、コーヒー農家は国内の供給は足りており、輸入は国内生産にとって有害だとして反発した。2月22日、ブラジル大統領は、この件はさらに検討する必要があるとして、計画されていた1百万袋の割り当て輸入の停止を決断したのである。

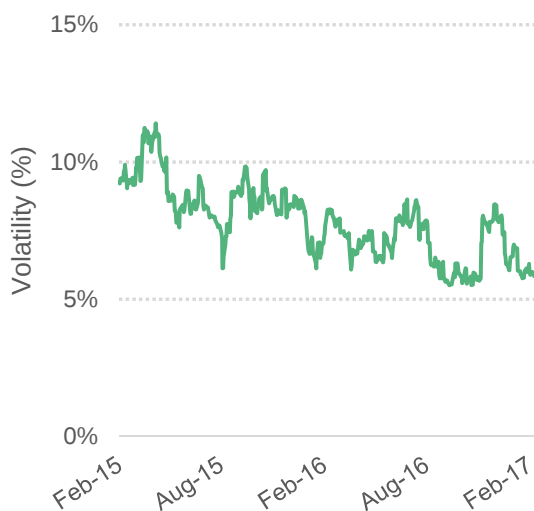
一方、ロブスタコーヒーの主要生産国であるベトナムは、2016/17年度最初の4か月間に前年同期に比べ推定11.9%多く輸出した模様である。ニューヨークとロンドン先物市場の認証在庫量は夫々さらに3.1%（1.45百万袋から1.49百万袋に）、2.5%（2.73百万袋から2.80百万袋に）増加した。ブラジルの天候は全体としては良好であり、尤もコニロンの主要産地エスピリト・サント州の降雨量は平均値を少し下回るようだが、取り敢えずの供給懸念は和らいだと言える。

グラフ 3: ニューヨークとロンドン先物市場の
アービトラージ



© 2017 International Coffee Organization (www.ico.org)

グラフ 4: ICO 複合指標価格の30日移動平均
価格変動率

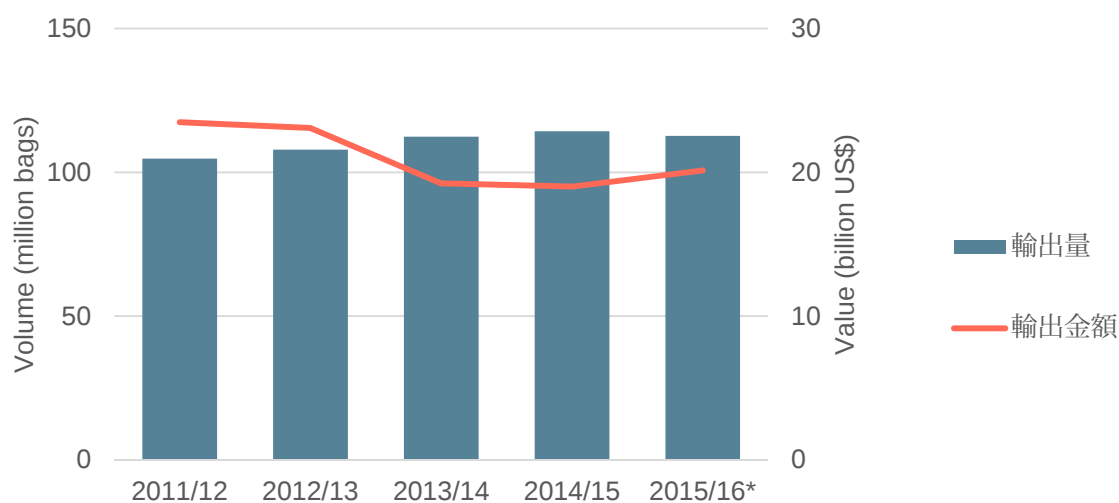


© 2017 International Coffee Organization (www.ico.org)

ICOによる2015/16年度の全輸出国の総輸出金額の第一回推定値は201億米ドル（輸出量は104.8百万袋）となった。この金額は2014/15年度に比べると（総数量は1.4%減ったにも関わらず）5.9%の増加であり昨年度に比べコーヒー価格が上昇したことが反映されたものとなっている。

2017年1月の全輸出国の輸出量は9.8百万袋であり、2016/17年度最初の4か月（2016年10月～2017年1月）の累計輸出量は39.9百万袋となり、2015/16年度同期間の輸出量36.7百万袋に比べると8.9%増加した。この期間ロブスタコーヒーとアラビカコーヒーの輸出量は夫々7.4%、9.7%増えた。

グラフ 5: 世界コーヒー輸出金額及び輸出量 (2011/12 - 2015/16)



* 推定値

© 2017 International Coffee Organization (www.ico.org)

表 1: ICO 指標価格及び先物価格 (US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
Monthly averages							
Feb-16	111.75	137.17	147.70	122.24	74.04	119.25	64.96
Mar-16	117.83	145.20	157.50	130.38	75.60	127.33	66.17
Apr-16	117.93	143.66	154.22	128.10	80.18	125.34	70.90
May-16	119.91	144.49	155.19	129.05	83.93	126.80	75.11
Jun-16	127.05	156.86	165.45	138.38	85.94	139.10	76.87
Jul-16	132.98	164.46	171.76	144.76	90.82	148.16	82.09
Aug-16	131.00	160.78	167.54	141.41	91.79	145.37	83.47
Sep-16	138.22	168.85	176.30	149.80	96.88	154.87	88.63
Oct-16	142.68	172.28	178.96	153.15	103.65	160.07	95.30
Nov-16	145.82	177.85	184.12	157.72	103.72	165.24	95.40
Dec-16	131.70	156.64	161.78	137.14	101.85	143.04	93.66
Jan-17	139.07	164.96	168.61	145.70	108.32	152.24	100.24
Feb-17	137.68	163.67	166.35	145.50	106.49	148.64	98.46
% change between Jan-17 and Dec-16							
	-1.0%	-0.8%	-1.3%	-0.1%	-1.7%	-2.4%	-1.8%
価格変動率 (%)							
Jan-17	6.3%	7.0%	6.5%	7.8%	6.0%	7.9%	6.3%
Feb-17	5.7%	6.2%	5.6%	7.0%	5.6%	6.5%	5.8%
Variation between Jan-17 and Dec-16							
	-0.6%	-0.8%	-0.9%	-0.7%	-0.4%	-1.4%	-0.6%

* 第二限月と第三限月の平均価格

表 2: 価格差 (US cents/lb)

	Colombian Milds Other Milds	Colombian Milds Brazilian Naturals	Colombian Milds Robustas	Other Milds Brazilian Naturals	Other Milds Robustas	Brazilian Naturals Robustas	New York* London*
Feb-16	-10.53	14.93	63.13	25.46	73.66	48.20	54.29
Mar-16	-12.30	14.82	69.60	27.12	81.90	54.78	61.16
Apr-16	-10.56	15.56	63.48	26.12	74.04	47.92	54.44
May-16	-10.70	15.44	60.56	26.14	71.26	45.12	51.69
Jun-16	-8.59	18.48	70.92	27.07	79.51	52.44	62.23
Jul-16	-7.30	19.70	73.64	27.00	80.94	53.94	66.07
Aug-16	-6.76	19.37	68.99	26.13	75.75	49.62	61.90
Sep-16	-7.45	19.05	71.97	26.50	79.42	52.92	66.24
Oct-16	-6.68	19.13	68.63	25.81	75.31	49.50	64.77
Nov-16	-6.27	20.13	74.13	26.40	80.40	54.00	69.84
Dec-16	-5.14	19.50	54.79	24.64	59.93	35.29	49.38
Jan-17	-3.65	19.26	56.64	22.91	60.29	37.38	52.00
Feb-17	-2.68	18.17	57.18	20.85	59.86	39.01	50.18
% change between Feb-17 and Jan-17							
	-26.6%	-5.7%	1.0%	-9.0%	-0.7%	4.4%	-3.5%

* 第二限月と第三限月の平均値

表 3: 世界の需給バランス

Crop year commencing	2013	2014	2015	2016*	% change 2015-16
生産量	152 130	148 724	151 438	151 624	0.1%
Arabica	90 163	86 151	88 273	95 204	7.9%
Robusta	61 967	62 572	63 165	56 419	-10.7%
Africa	16 243	15 987	16 229	16 353	0.8%
Asia & Oceania	46 461	45 666	48 967	43 110	-12.0%
Mexico & Central America	16 598	17 116	17 291	17 740	2.6%
South America	72 828	69 954	68 951	74 420	7.9%
消費量	149 032	151 822	155 712	155 100	-0.4%
Exporting countries	46 109	47 245	48 262	48 337	0.2%
Importing countries (Coffee Years)	102 931	104 577	107 450	106 763	-0.6%
Africa	10 595	10 739	10 745	10 774	0.3%
Asia & Oceania	30 714	32 602	33 665	33 669	0.0%
Mexico & Central America	5 158	5 240	5 311	5 237	-1.4%
Europe	50 169	50 907	51 802	51 544	-0.5%
North America	27 714	27 372	28 875	28 535	-1.2%
South America	24 682	24 962	25 313	25 341	0.1%
需給バランス	3 098	-3 098	-4 274	-3 476	-18.7%

単位：千袋

* 推定値

表 4: 輸出国の総輸出量

	January 2016	January 2017	% change	October - January 2015/16	October - January 2016/17	% change
TOTAL	9 219	9 837	6.7%	36 709	39 977	8.9%
Arabicas	5 712	6 343	11.0%	23 435	25 716	9.7%
Colombian Milds	1 182	1 567	32.6%	4 988	5 876	17.8%
Other Milds	1 689	2 018	19.5%	5 710	7 029	23.1%
Brazilian Naturals	2 841	2 758	-2.9%	12 737	12 811	0.5%
Robustas	3 507	3 494	-0.4%	13 274	14 261	7.4%

表 5: ニューヨークとロンドン先物市場の認証在庫量

	Feb-16	Mar-16	Apr-16	May-16	Jun-16	Jul-16	Aug-16	Sep-16	Oct-16	Nov-16	Dec-16	Jan-17	Feb-17
New York	1.76	1.62	1.58	1.53	1.48	1.45	1.45	1.42	1.44	1.42	1.40	1.45	1.49
London	3.04	2.92	2.78	2.64	2.53	2.45	2.37	2.32	2.28	2.38	2.39	2.73	2.80

単位：百万袋

ートピックス(1)ー

毎年、カナダコーヒー協会（CAC）は同国のコーヒー需要動向調査を行っていますが、CAC ホームページから調査内容をお届けします。

ご存知でしたか？ カナダのコーヒー事情

- ・ 16 歳以上の成人にとりコーヒーは最も飲まれている飲料（水道水以上に）である。
- ・ 3 分の 2 以上のカナダ成人は少なくとも 1 日 1 杯以上のコーヒー（平均 3.2 杯/1 日）を飲んでいる。コーヒーは屋外で最も飲まれている（34.3%）飲料でソフトドリンク（19.5%）、紅茶（8.3%）が続いている。
- ・ コーヒーが最も飲まれるのは朝食時（85%）でその他の時間帯を大きく上回っている。
- ・ スペシャルティコーヒー（カプチーノ、エスプレッソ、ラッテ、モカコーヒー、マキアート、アメリカンコーヒー）市場が伸びている（2011 年～2015 年は年率 3%成長）。

我々はどこでどのようにコーヒーを飲んでいるのだろう？

- ・ 10 杯の内 7 杯は家庭で飲まれている。
- ・ 家庭で最も利用されているコーヒー抽出器はドリップコーヒーメーカー（53%）であり、2 番目に多いのが一杯取りコーヒーメーカー（25%）である。
- ・ 一杯取りコーヒーメーカー保有率（38%）は米国（27%）より多い。
- ・ コーヒーの屋外消費の場所では、最も多いのが、レストラン、喫茶店等の外食の場であり、次が車中（23%）、職場（17%）の順である。

カナダのコーヒー産業の規模は？

- ・ 全産業の販売金額は 62 億ドルである。
- ・ フードサービス分野の販売金額は 48 億ドルである。
- ・ 卸売り/小売りの販売金額は 14 億ドルである。
- ・ オフィスコーヒーの販売金額は 325,000 ドル強である。

カナダコーヒー産業の労働人口は？

- ・ 喫茶店・コーヒーショップは 160000 人強。
- ・ 焙煎・製造業は 5000 人。
- ・ 喫茶店・コーヒーショップのオーナーが 5000 人、フランチャイズ店長が数千人である。
- ・ 始めたばかりで研修を満喫している若者達もいる。
- ・ コーヒー製品製造に関連する包装資材、カップ、食品機械製造業に従事する人等もいる。

コーヒーと貿易

- ・ 米国、欧州、日本などの伝統的消費市場に比べても、カナダは過去 10 年間にわたり継続

的な高成長率を維持している。

- ・カナダは 30 以上の発展途上のコーヒー生産国からコーヒーを輸入している。
- ・カナダは、米国が輸入している付加価値コーヒー製品の最大の輸出国である。

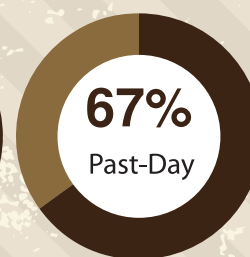
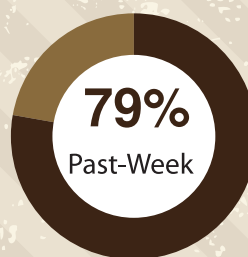
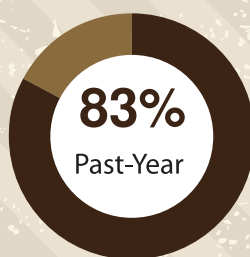
コーヒーと年齢

- ・伝統的コーヒー (traditional coffee) を最も多く消費しているのは 65～79 歳の年代層である。
- ・スペシャルティコーヒーや冷凍ブレンドコーヒー (frozen blended coffee) を多く飲む年代層は 18～49 歳である。
- ・昨日コーヒーを飲んだ人の割合が最も高かった年代は 50～79 歳 (73～76%) で、その他の年代に比べると、18～24 歳 (58%)、25～34 歳 (63%)、35～49 歳 (68%) に比べても明らかに多い。
- ・若者世代 (18～34 歳) は屋外では、車中や職場で飲む頻度が高いことが顕著である。
- ・若者世代 (18～34 歳) は認証コーヒー (フェアトレード、レインフォレストアライアンス、オーガニック等) などの倫理基準を満たしたコーヒーを飲む傾向が強い。



67%

Percent of Canadians aged 18-79
that drank coffee yesterday



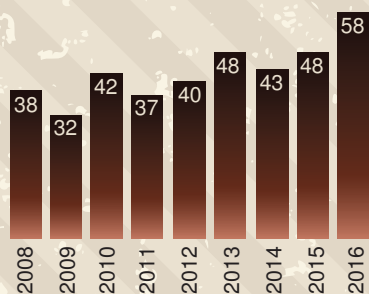
スペシャルティーコーヒー成長率
昨日コーヒーを飲んだ人の割合 (%)



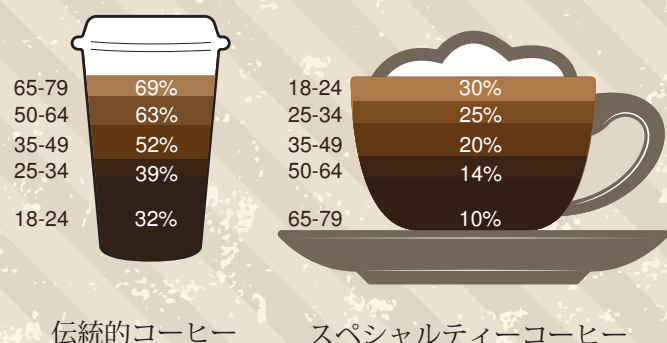
スペシャルティーコーヒーは全てのエスプレッソベースのコーヒーを含む。2016年、フラットホワイトコーヒー、窒素充填コーヒー、水出しコーヒーを加えた。

18-24歳の年代の
消費者の飲用頻度が
上がっている。

18-24歳の人々が昨日コーヒー
を飲んだ割合 (%)

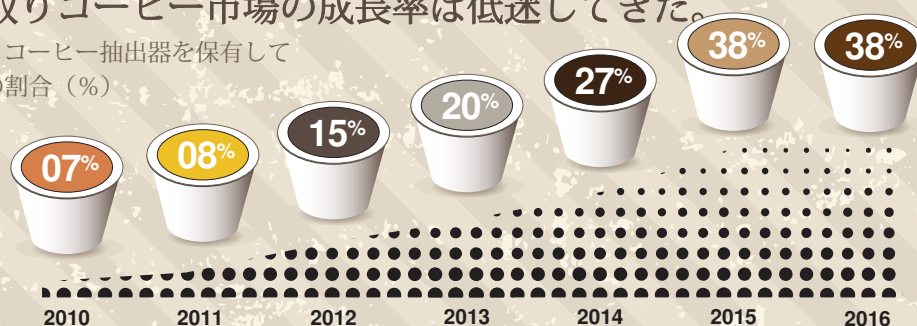


年代層により飲むコーヒーの種類が違う
昨日飲んだコーヒーの年代層別割合 (%)



一杯取りコーヒー市場の成長率は低迷してきた。

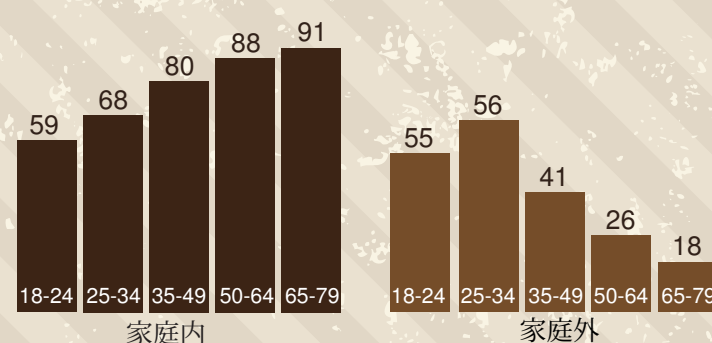
一杯取りコーヒー抽出器を保有して
いる人の割合 (%)



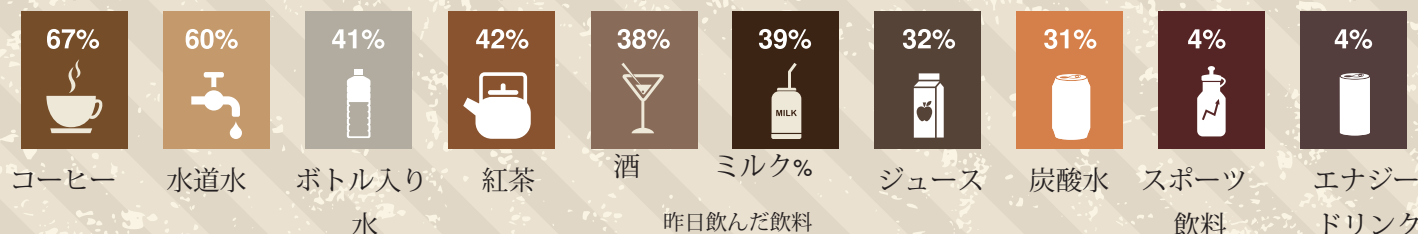
消費者の一杯取りコーヒーに対する印象は次のような項目で悪化している

- 一杯取り抽出器は抽出の際手が汚れてすむ。
- 一杯取り抽出器で点てたコーヒーは他の抽出器のものよりおいしい。
- 一杯取り抽出器については、友人や家族から良い評判を聞く。
- 一杯取り抽出器は他の抽出器に比べ扱い安い。
- 一杯取り抽出器があれば喫茶店で飲む回数を減らすことが出来る。

年代層によりコーヒーを飲む場所が異なる
昨日飲んだコーヒーの年代層別割合 (%)



コーヒーと水道水が最もよく飲まれる飲料である



ートピックス(2)ー

2月3日付全米コーヒー協会ホームページに掲載されていた記事を紹介します。筆者は Rabobank の上級アナリスト Andres Padilla 氏です。

2017年の米国コーヒー市場はどうなるのか？

小売市場の成長は鈍化するが、フードサービス市場は堅調を維持するだろう

過去5年間、米国に於けるコーヒー小売り販売金額は順調に増加してきた。IRI データによると、2012年から2016年の米ドルベースでの販売金額の年間成長率は4.6%となっており、先進国市場としてはかなり高い成長率だと言えるだろう。一杯取り抽出器市場の急速な発展がコーヒー小売市場を変化させたのである。一杯取りブランドコーヒーの米ドル販売金額シェアは2012年には21%に過ぎなかったが、今や41%になっているのである。

一方過去5年間のその他のカテゴリーの商品の販売金額は落ち込んでいる（商品によっては大幅に落ち込んでいるものもある）。インスタントコーヒー、焙煎豆（whole beans）の販売金額は9%落ち込んでおり、レギュラーコーヒー（ground coffee）は9%減少している。しかし、最近では一杯取りコーヒーの販売金額の成長率は小さくなっており、2016年は2%以下に留まっている。コーヒー小売市場の商品構成の変化を見ると、小売金額の成長率が小さくなっている理由が解るだろう。

即ち、一杯取りコーヒー商品が成熟市場になった為、小売市場全体の販売金額の伸び率が小さくなった訳で、2017年の成長率はゼロになるかもしれない。全米コーヒー協会（NCA）の調査によると、米国家庭に於ける一杯取り抽出器の普及率は、2011年に9%だったものが急成長し、その後約30%でピークアウトしているとのことである。即ちドリップコーヒー抽出器やインスタントコーヒーから一杯取りコーヒーに切り替える消費者が少なくなった為成長率が止まったのである。

一杯取りコーヒーブランドが飽和状態になったことも成長が止まった要因である。即ち、米国の主要コーヒーメーカーの殆ど全てのブランドが一杯取りコーヒー市場に参入し終えたので新ブランド投入による成長率増加の可能性が少なくなったのである。また、この市場に多くのブランドが参入したことやプライベートブランドの市場シェアが増えたことで過当競争となり商品価格が下がったこともこの市場の成長が止まった理由に挙げられる。Rabobank の分析によると、一杯取りコーヒー商品の価格は、2006年～2008年の草創期以降30%程上昇したが、それ以降価格は下落傾向が続き、今では10年前とほぼ同じ価格水準になっている。

環境面への関心も消費者心理を冷やしており、今後この商品が成長するかどうかは環境面に於けるコーヒーメーカー側の取り組み姿勢が重要な要素になるだろう。一杯取りコーヒー販売が伸び悩むことを考えると、2017 年の小売りコーヒー販売金額成長率は 1%もしくはそれ以下となるだろう。

コーヒーの小売り市場が伸び悩む一方、家庭外市場は拡大するだろう。ユーロモニター (Euromonitor) 予測では、2016 年のフードサービス分野に於けるコーヒー販売金額は 2015 年に比べ 3.3%増えたとのことである。失業率の低下及び経済成長持続のお陰により消費者が家庭外でコーヒーを飲む機会が増えているが、この傾向は 2017 年も続くだろう。米国の家族構成に於ける変化もコーヒーの家庭外消費を促す要因となっている。即ち、単身世帯の増加及び未成年者が含まれる世帯の減少は、家庭内でコーヒー飲用機会の多い朝食を食べる世帯が減少していることを意味しているからである。

米国社会に於ける若者世代 (Millennials) の重要性が増していることがコーヒーの家庭外消費とプレミアムコーヒー消費を促している。即ち、彼らは今や初めて米国内で最多人口を抱える年代層となり、全ての年代層の中で最も消費金額の多い購買層となっている。

若者世代にとって自分の好みに合わせた自家焙煎コーヒーやシングルオリジンコーヒーは重要な意味を持つものであり、フードサービス店や自家焙煎喫茶店はこのような付加価値のあるコーヒーメニューを提供している。しかし、大手ファストフード店やコーヒーチェーン店もこの傾向を受け入れてきている。これらの店もメニューを増やしたり、水出しコーヒー (cold brew coffee) のような新商品を提供することで、プレミアム市場で始まった新傾向の恩恵に預かろうとしているのである。家庭外市場のコーヒー販売金額は 2017 年も継続して成長し、2016 年と同じ程度の伸び率、3%若しくはそれ以上の伸びが期待できるだろう。

以上